








土壤汚染状況調査結果図（令和5年度）








【別紙（2）】

【凡例】

-  敷地境界
-  調査範囲
-  単位区画（10m×10m）
-  30m格子
-  埋立範囲
-  形質変更時要届出区域に指定済
-  区画統合

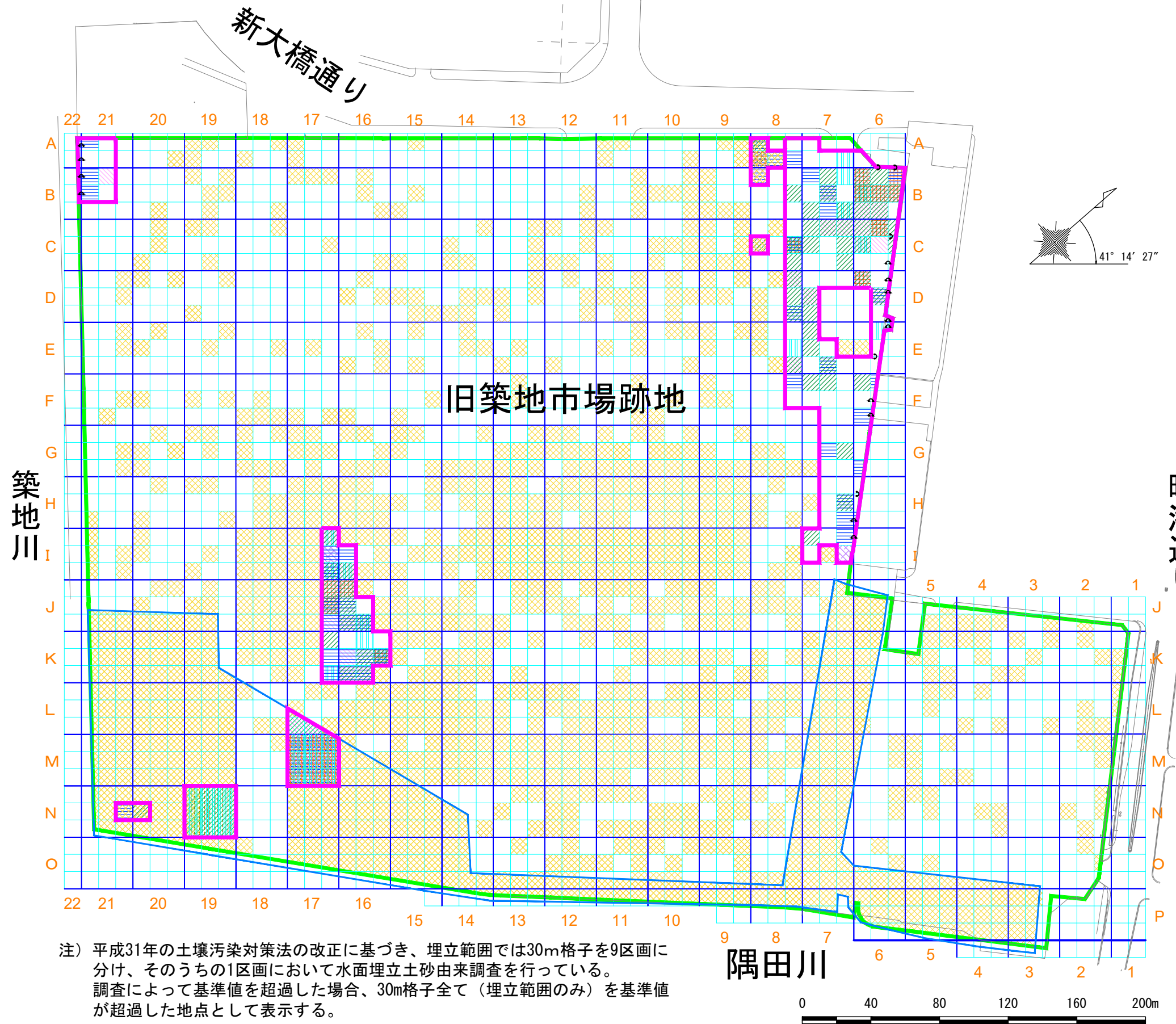
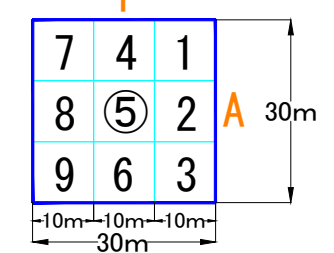
〔基準値超過している物質（令和5年度）〕

形質変更時要届出区域に指定された区域

-  六価クロム化合物が土壤溶出量基準に不適合な単位区画
-  水銀及びその化合物が土壤溶出量基準に不適合な単位区画
-  セレン及びその化合物が土壤溶出量基準に不適合な単位区画
-  鉛及びその化合物が土壤溶出量基準に不適合な単位区画
-  砒素及びその化合物が土壤溶出量基準に不適合な単位区画
-  ふっ素及びその化合物が土壤溶出量基準に不適合な単位区画
-  鉛及びその化合物が土壤含有量基準に不適合な単位区画

調査対象区画の設定

A1-5



注) 平成31年の土壤汚染対策法の改正に基づき、埋立範囲では30m格子を9区画に分け、そのうちの1区画において水面埋立土砂由来調査を行っている。調査によって基準値を超過した場合、30m格子全て（埋立範囲のみ）を基準値が超過した地点として表示する。